

Joie™

ECE R129/02 適合

適応身長 40cm から 75cm まで

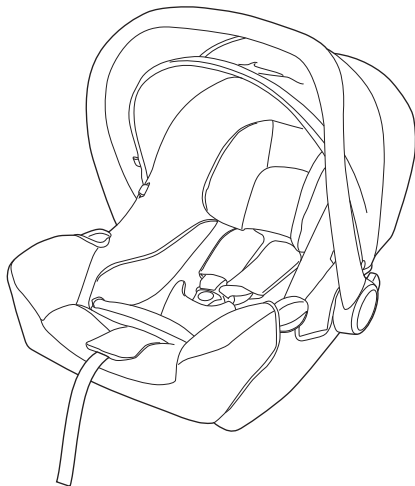
適応体重 2.5kg 以上 13kg 以下

ジョイー・チャイルドシート

i-Snug™

アイ-スナグ

取扱説明書 / 保証書



ECE R129/02: ISO/R2
i-Size universal ISOFIX

2005RV1

JP Welcome to Joie™

ジョイイー・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品の使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、手順、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本製品は、ECE R129/02 基準に適合した i-Size ISOFIX 対応のチャイルドシートです。ECE R129/02 基準により使用できるお子さまの範囲が定められています（別売の ISOFIX ベース (JOIE I-Base) 使用時）

●身長：40cm ～ 75cm / かつ体重 2.5kg ～ 13kg(生後 12 ヶ月)

本製品は単体で、自動車の3点式シートベルトで自動車の座席に固定して使用することができます（ただし、適合車種一覧で適合が確認されている場合に限りです）。この場合に使用できるお子さまの範囲は以下の通りです。

●体重 2.5kg ～ 13kg(生後 12 ヶ月)

本書では、本製品および JOIE I-Base（別売：ISOFIX 固定専用）の取り付け・使用方法が記載されています。なお、本製品は、JOIE ブランドの他のベースシートに取り付け可能な場合があります。取り付け可能なベースシートについては、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

⚠危険

本書の内容を理解して正しく取り付け・使用すること

誤使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。本書および本製品に表示されている取り付け方法、使用方法を必ず守ってください。本書は必要なときにいつでも参照できるよう所定の場所に保管してください。

取扱説明書の保管

本製品は、チャイルドシートとして使用できるインファントキャリアです。本書には本製品と、本製品を取り付けて ISOFIX により自動車の座席に固定する、別売の「ISOFIX ベース」の使用方法が記載されています。

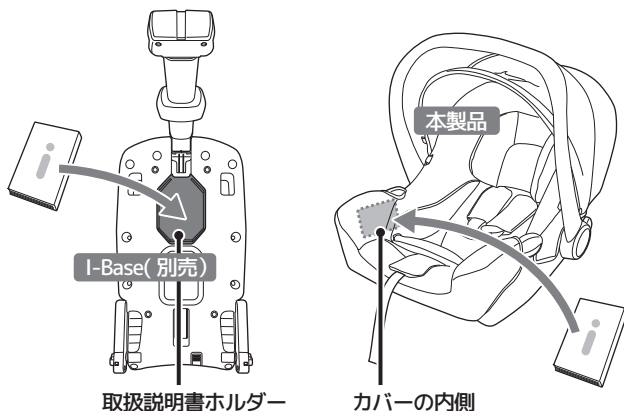
ISOFIX ベースについては、本製品が取り付け可能な JOIE I-Base (別売) での使用方法を表記しています。

本書を最後までお読みいただき、内容を十分に理解した上で本製品をお使いください。

JOIE I-Base (別売) の底面には、本書を保管するための、取扱説明書ホルダーがあります。

本製品をご使用いただく際は、いつでも必要な時に参照できるように、本書を取扱説明書ホルダーに保管いただくか、または、本製品のシートカバーの中に入れておくようにしてください*。

※本製品は、キャリアとして使用する他、ベビーカーのシートとして使用したり、本製品単独で自動車の3点式シートベルトで固定してチャイルドシートとして使用することができます。



もくじ

はじめにお読みください	5
ユーザー登録のお願い	5
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	6
自動車との適合について	6
緊急時には	7
本製品の重要な情報	7
表記の説明	7
内容物の確認	9
各部の名称	10
使用できるお子さまの条件	12
自動車の座席への取り付けに関して	13
取り付け・使用可能な座席の位置と向き	13
取り付け・使用できない座席	14
3点式シートベルトで固定する場合	18
使用上の注意事項	19
緊急時の操作	32
飛行機内での使用	33
飛行機のベルトでの固定のしかた	34
基本的な使用方法	36
バックルの使いかた	36
ハーネスの長さ調節	38
ソフトパッドの使いかた	40
キャリア・ハンドルの使いかた	41
キャノピーの使いかた	42
ISOFIX ベース（別売）による取り付け	44
ISOFIX ベース（別売）の取り付け	44
本製品の取り付け	53
本製品の取り外し	56
ISOFIX ベース（別売）の取り外し	57
お子さまの乗せかた	60
ソフトパッドについて	63
3点式シートベルトによる取り付け	66
その他の使いかた	74
ベビーキャリアとして使用する	75
ロッキング・インファントチェアとして使用する	77
ベビーカー用のシートとして使用する	79
お手入れのしかた	88
本製品のお手入れ	88
ISOFIX ベース（別売）のお手入れ	97
保管のしかた	99
廃棄のしかた	100
保証書	

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内での使用が認められている UN/ECE 規則のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されたしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、**万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。**

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになる自動車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品のみを3点式シートベルトで固定する場合の適合情報（3点式シートベルトによる取り付け）と、本製品を取り付けたI-Base（別売）を固定できる可能性のある汎用ISOFIX固定装置を装備した車種の情報（ISOFIXによる取り付け）がそれぞれ記載されています。

3点式シートベルトによる取り付けの可能な車種と、ISOFIXによる取り付けの可能な車種は一致するとは限りませんので、使用方法に応じて、適合車種一覧を確認するようにしてください。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

緊急時には

事故の際やその他の緊急時には、第一にお子さまの安全を確保し、応急処理を行い速やかに医師の診断を受けるようにしてください。

本製品の重要な情報

本製品は、ECE R129/02 基準に適合したチャイルドシートです。本製品は i-Size 規格に準じて、自動車の取扱説明書等によって、自動車メーカーが i-Size に対応すると指定する座席に、原則として取り付けて使用することができます。ただし、「i-Size 対応」の座席でも形状等の条件によっては適切に取り付けできない場合もあります。

別売の JOIE I-Base は、ECE R129/02 基準に適合し、承認された i-Size 製品である本製品と組み合わせることにより使用できる、拡張幼児キャリアモジュールです。自動車の取扱説明書等によって、自動車メーカーが i-Size に対応すると指定する座席に、原則として取り付けて使用することができます。ただし、「i-Size 対応」の座席でも形状等の条件によっては適切に取り付けできない場合もあります。

本製品は、適合車種一覧において使用可能と指定されている車種の座席に、本書の指示に従って正しく自動車の座席に取り付けることにより、単体でも使用することができます。




疑問点やご不明な点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。



危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

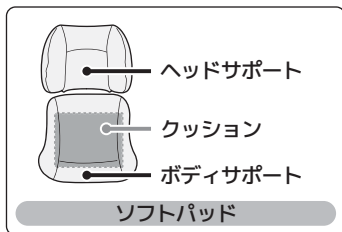
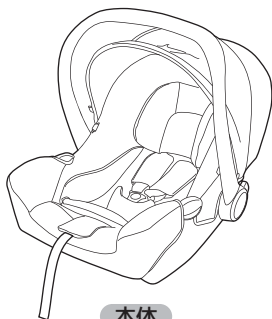
表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

チャイルドシートでの使用について

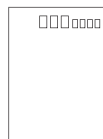
表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、別売の ISOFIX ベースに本製品を取り付けて、ISOFIX で自動車の座席に固定した場合についての事柄を示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、本製品単体で、自動車の座席に3点式シートベルトにより固定した場合についての事柄を示します。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



※本体に取り付けられています



警告

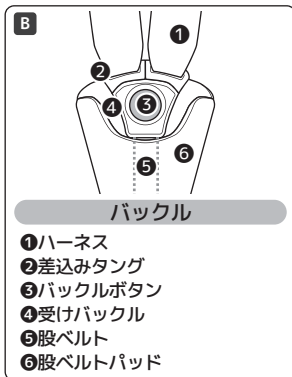
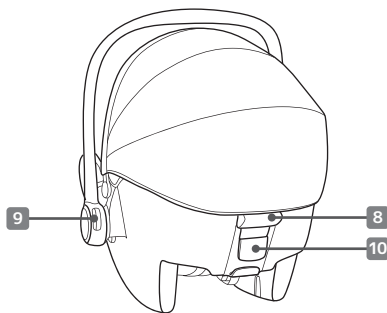
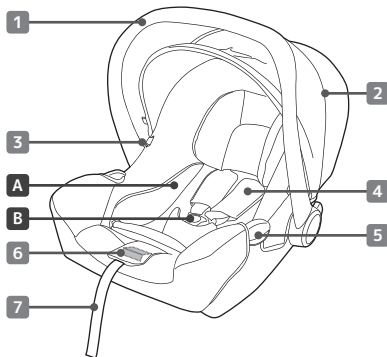
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

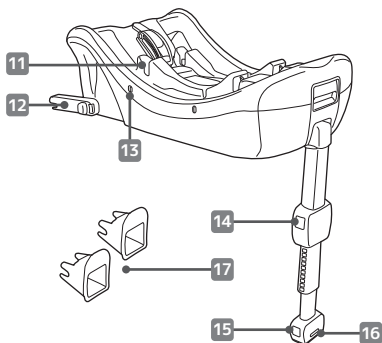


- 1 キャリーハンドル
- 2 キャンピー
- 3 ベビーカーリリースボタン
- 4 ハーネスパッド
- 5 腰ベルトガイド (左右)
- 6 ベルトアジャスター
- 7 アジャスターベルト

- 8 ベビーカーリリースレバー
- 9 ハンドルボタン
- 10 肩ベルトガイド

JOIE I-Base(別売)

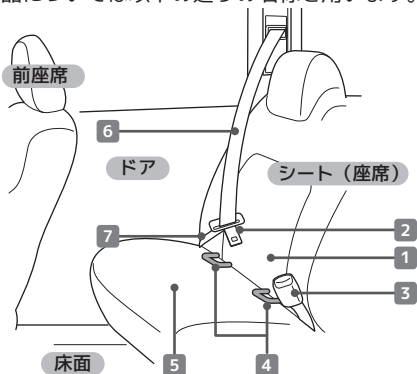
ISOFIX で使用するためには、別売の ISOFIX ベースが必要です。本書では、JOIE I-Base での使用方法を記載しています。



- | | |
|--------------------|-------------------|
| 11 マウント | 15 アジャストボタン |
| 12 ISOFIX コネクター | 16 サポートレッグインジケーター |
| 13 インジケーター | 17 ISOFIX ガイド×2 |
| 14 サポートレッグアジャストボタン | |

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



ポイント！

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 (シート) 背もたれ | 5 シート座面 |
| 2 (シート) タング | 6 肩ベルト (シートベルト) |
| 3 (シート) バックル | 7 腰ベルト (シートベルト) |
| 4 ISOFIX 固定バー | |

使用できるお子さまの条件

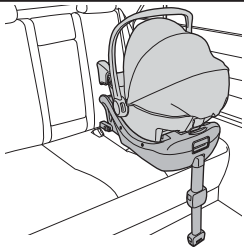

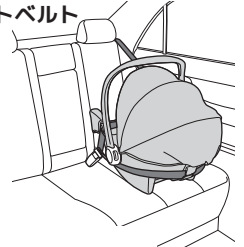

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE R129/02 基準に適合したチャイルドシートであり、身長 40cm(体重 2.5kg 以上の新生児^{※1}) から、身長 75cm かつ体重 13kg 以下 / 生後 12 か月まで、のお子さまにご使用いただけます^{※2}。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※ 1 : ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

※ 2 : 本製品単体を、3点式シートベルトで固定して使用する場合、基準上ではお子さまの使用可能な身長についての規定はありませんが、ハーネスで適切にお子さまを固定できない場合は、使用しないでください。

取付方法	適応条件
<p data-bbox="56 535 150 564">ISOFIX</p>  <p data-bbox="56 828 481 856">本製品+別売 ISOFIX ベース (I-Base) で取り付け</p>	<p data-bbox="631 599 963 692">身長 : 40cm ~ 75cm まで 体重 : 13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢 : 12 か月以下</p> <div data-bbox="616 721 979 849"><p data-bbox="725 728 958 835">ボディサポート 身長 60cm 以下のお子さまの使用を推奨します。 お子さまの成長に合わせて調節して使用します。</p></div>
<p data-bbox="56 863 295 892">3点式シートベルト</p>  <p data-bbox="56 1163 248 1192">本製品単体で取り付け</p>	<p data-bbox="631 963 963 1021">体重 : 13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢 : 12 か月以下</p> <div data-bbox="616 1042 979 1170"><p data-bbox="725 1049 958 1156">ボディサポート 身長 60cm 以下のお子さまの使用を推奨します。 お子さまの成長に合わせて調節して使用します。</p></div>

⚠ 危険

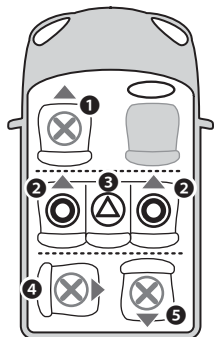
使用条件を守ること

使用条件に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用できるお子さまの条件」を遵守してください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け・使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 取付使用可能
- ③ 後列中央席 条件付使用可
- ④ 進行方向横向きの座席 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 取付使用不可
- ⑥ 3列目以降の座席 条件付使用可



ISOFIX での取り付け使用時

本製品+別売 ISOFIX ベース (I-Base) での使用
一部車種には後列中央座席に汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている場合には、取り付けできる可能性があります。

3点式シートベルトでの取り付け使用時

本製品単体での使用
後列（3列目以降）の中央席において、ECR-R16 またはそれに準じた基準に適合した3点式シートベルトを装備した座席の場合には、取り付けできる可能性があります。

⚠ 危険

取り付け条件を守ること

上記のシート（座席）全てに取り付け・使用可能とは限りません。
上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取り付けが可能です。

本製品は、ECE R129/02、i-Size 規格に対応したチャイルドシートです。
本製品を別売の ISOFIX ベース (I-Base) に取り付けられた状態で、基本的には自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指示された座席に取り付けて使用することができます。ただし、座席の条件等によっては、取り付けできない可能性もあります。

所定の条件を満たした場合、本製品のみを自動車の3点式シートベルトで取り付けて使用することもできます。
いずれの場合も、適合車種一覧において、適合する車種、座席が記載されていますので、あらかじめご確認ください。

3点式シートベルトによる取り付けの可能な車種と、ISOFIX による取り付け可能な車種は一致するとは限りませんので、使用方法に応じて、適合車種一覧を確認するようにしてください。

取り付け・使用できない座席

本製品は、全ての自動車、全てのシート（座席）で使用できるものではありません。また、ISOFIX での固定と、3 点式シートベルトによる固定で条件が異なる場合があります。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、自動車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

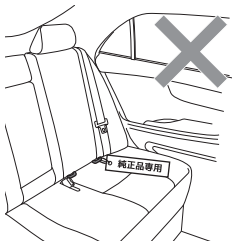
以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO

仕様が異なる ISOFIX 固定バーが装備された座席

ISOFIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品を取り付ける ISOFIX ベースの条件に適合する仕様の ISOFIX 固定バーが装備された座席でのみ取り付け可能です。ISOFIX の仕様については、自動車の取扱説明書をご参照ください。

なお、本製品は一定の条件を満たした場合、3 点式シートベルトによる固定も可能です。



ISO

3点式

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用は非常に危険です。



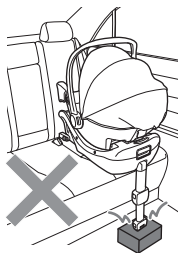
⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO

床面に構造物のある座席

本製品は、ISOFIX で使用する場合、ISOFIX ベースのサポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



ISO

3点式

本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

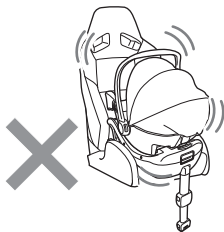
本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け・使用してください。また、非常時や緊急時を想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

ISO

3点式

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、ISOFIX ベースのサポートレッグが接地しない座面の高い座席、ISOFIX ベースが浮いてしまう座面の低い座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていた、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないことがあります。



⚠危険

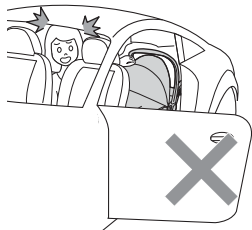
以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO 3点式

同乗者の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の同乗者が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の同乗者が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

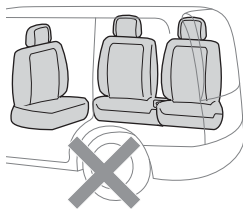


ISO 3点式

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

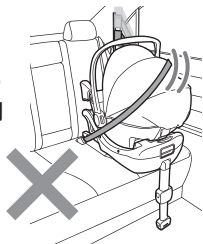
また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、船などの座席でも取り付けて使用できません。



ISO 3点式

パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



⚠危険

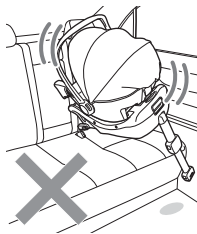
以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO

3点式

その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け・使用ができない座席では、使用しないでください。



ISO

3点式

自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないようにすること

自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付けに影響をおよぼすおそれがあります。

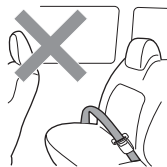
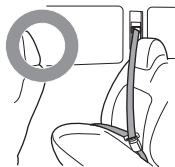
3点式

3点式シートベルト以外の座席

シートベルトでの固定の場合、座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。

本製品は、ECE-R16 または同等の基準に準拠した3点式シートベルトで固定することができます。



3点式シートベルトで固定する場合

本製品を、3点式シートベルトで自動車の座席に固定する場合、あらかじめ3点式シートベルトの種類を確認してください。

本製品は、ECE-R16 または同等の基準に準拠した3点式シートベルトで固定することができます。

座席の形状、バックルの位置等の条件を満たしている、近年の国産車においては、ほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては、正しく固定することができないことがあります。

次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR 緊急ロック式 ベルト巻き取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常はELRとして機能。シートベルトを最後まで引き出すと、ALRに切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わる。	ELRに切り替えて取り付けてください。
その他	使用できません	

危険

シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります

シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け・使用できない場合があります。取り付け・使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付け・使用不可とされている車種・座席では、絶対に取り付け・使用しないでください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

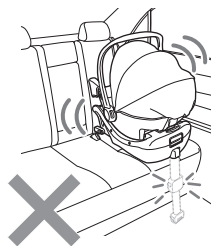
⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

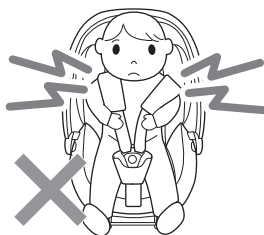
本取扱説明書や ISOFIX ベースの取扱説明書、および本製品、ISOFIX ベースの本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



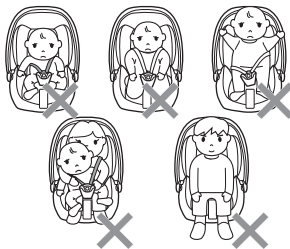
使用条件を厳守すること

本製品は、適合するチャイルドシートの基準により、使用できる条件と本製品の取り付け方法とそれに応じた使用可能なお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

体型が合わない場合は使用しないこと

本製品では、お子さまの身長と体重・月齢により使用できる範囲が定められています。正しい範囲内でも、お子さまの体型・体格により、本製品を調節しても、お子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。

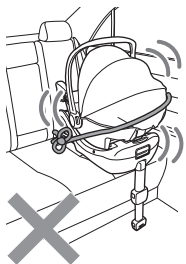
指定以外の耐荷重接点を使用しないこと

本製品を取り付け・使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点以外を使用しないでください。本製品の取り付け・使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

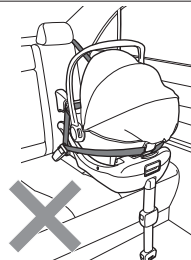
本製品（および ISOFIX ベース）は、取扱説明書および本体で指示する方法でのみ、自動車の座席に固定し、お子さまは本製品のハーネスを装着して使用することができます。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを、固定、装着に使用してはいけません。

また、正しく固定、装着した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



ISOFIX と 3 点式シートベルトの固定を同時に行わないこと

ISOFIX での固定と、3 点式シートベルトでの固定を併用してはいけません。安全性が増すことはなく、本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。



お子さまの様子に注意すること

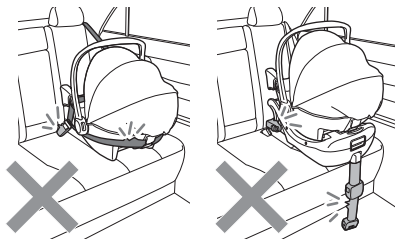
本製品は、常に保護者の目が届く状態でご使用ください。お子さまを本製品に乗せたまま放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態・様子には、常に注意を払ってください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

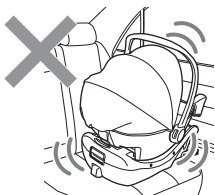
本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

ISOFIX で固定して使用する際には、ISOFIX ベースの ISOFIX コネクターや、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合、また 3 点式シートベルトで本製品のインファントキャリアを固定して使用する際には、本製品のハーネス、バックル、腰ベルトガイド、肩ベルトガイド、シートベルト、シートバックルに異常がある場合や、自動車の 3 点式シートベルトに異常がある場合は、取り付け・使用しないでください。交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



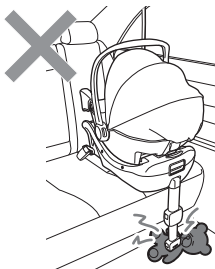
指定以外の向きで自動車の座席に取り付け・使用をしないこと

本製品は、ISOFIX で使用する場合、ISOFIX ベースのサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き・後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

ISOFIX で固定して使用する場合、サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスを正しく調節して常に装着すること

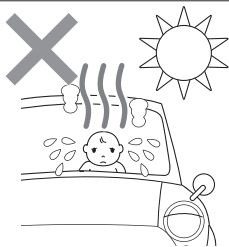
ハーネスは、高さ^①と長さ^②を正しく調節して、ねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。使用中は、常にバックルを留めて、腰の位置でしっかりとお子さまが固定されるようにしてください。

本製品をチャイルドシートとして使用しない場合も、お子さまを乗せる場合は同様にしてください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。

特に、交通事故の場合は軽度なものであってもチャイルドシートには強い力がかかっているおそれがありますので、ご使用にならないでください。

また、本製品の部品が欠落したり紛失したりした場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

このような場合は、修理ができません、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。

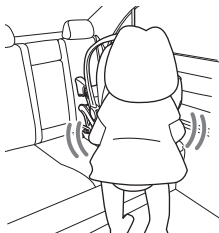


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

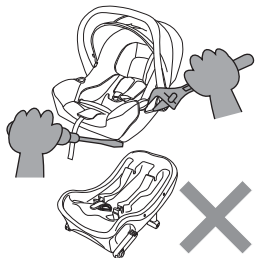
走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格・基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品・製品を追加して取り付け使用しないでください。



指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

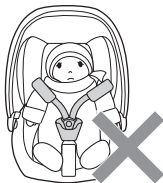
本製品のカバー類や、ソフトパッド類・衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ・毛布など衣服ではないものや、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。

正しく調節できない場合は、お子さまが正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



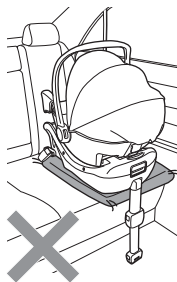
お子さまの固定に、ハーネス以外のものを使用しないこと

お子さまを本製品に乗せる場合には、ハーネス・バックルで正しくお子さまを固定してください。ハーネス・バックル以外のロープ・ベルト、紐などでお子さまを固定すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、正しくお子さまを固定した上から、これらのものでお子さまを固定しないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまに絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けられた際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車のシートに正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



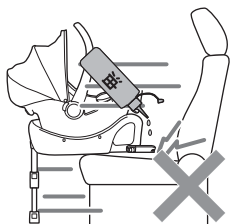
中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は過去の使用履歴や保管状況・使用状況が不明なため使用してはいけません。見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的・方法でも、絶対に本製品に注油してはいけません。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作・座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作、座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、必ず取り付け状態を確認してください。

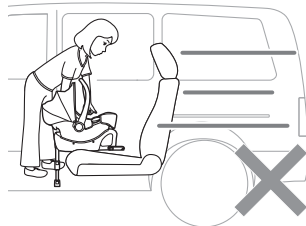
特に、3点式シートベルトで固定している場合は、取り付けがゆるむおそれがありますので、必ずご確認ください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

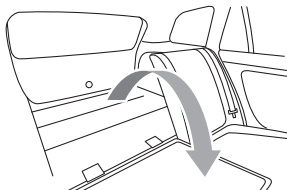
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バー、シートタンク、シートバックルを清潔に保つこと

ISOFIX ベースの ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定バー、シートタンク、シートバックルに食べかすや、汚れ、ほこりが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。

警告

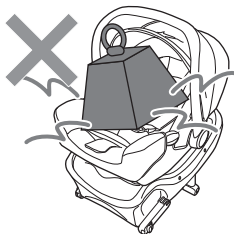
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ハーネスがねじれていたり、ゆるんだりした状態で使用しないこと
お子さまを固定する際に、ハーネスがねじれていたり、ゆるんだ状態だと、本製品が所定の安全性能を発揮することができないばかりか、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。
ハーネスは、本書の指示に従い正しい高さに調節して、正しく締め付けてご使用ください。

シートベルトがねじれていたり、ゆるんだりした状態で使用しないこと
本製品を自動車の座席に3点式シートベルトで固定して使用する場合は、本書の指示に従い、正しく、しっかりと固定してください。本製品を固定する3点式シートベルトに、ねじれやゆるみがあると、交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。また、シートベルトがゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

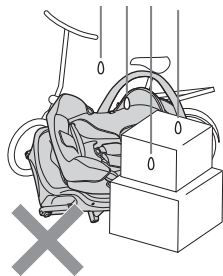
本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品（および ISOFIX ベース）が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



不適切な保管をしないこと

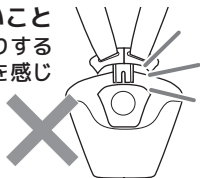
部品の劣化が早まったり、変質したりするなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

バックル・ハーネスに異常がある場合は使用しないこと
本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル・ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、本書で示す目的でのみ使用することができます。プースターチェアや就寝用ベッドとして使用するなど、本来の目的で以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品を ISOFIX ベースに取り付けた状態で、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしても、本製品を ISOFIX ベースに取り付けた状態で、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないことください。

また、サポートレッグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、ISOFIX ベースを持つ場合には、サポートレッグが開かないよう、サポートレッグに手を添えて持つようにしてください。



キャリーハンドルの状態を確認してから本製品を持ち上げること

キャリーハンドルが正しく固定されていない状態で、キャリーハンドルを持って本製品を持ち上げると、本製品が思わぬ動きをして、本製品が落下したり、お子さまが落下したりするおそれがあります。必ず、キャリーハンドルをキャリーモードで確実に固定してから本製品を持ち上げるようにしてください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ベビーカーに確実に取り付けて使用すること

本製品が脱落し、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合には、本取扱説明書およびベビーカーの取扱説明書の指示に従い、正しく、確実に取り付けて使用してください。また、本製品は、当社が指定するベビーカー以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損し、本製品が落下するおそれがあります。

本製品を持ってベビーカーを持ち上げないこと

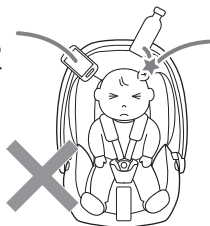
本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合、キャリーハンドルを含め、本製品だけを持ってベビーカー全体を持ち上げてはいけません。ベビーカーを持ち上げる必要があるときは、ベビーカーのフレームの、安定する部分を持って持ち上げるようにしてください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

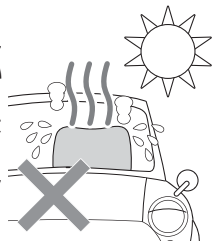
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

ハーネス・キャノピーなどの部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネス・キャノピー・ソフトパッド・生地部分などを持って、持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合、本製品単体の場合にはキャリーハンドルを持って、本製品を ISOFIX ベースに取り付けた状態の場合は、サポートレッグを手で支えながら ISOFIX ベース部分を持つようにしてください。



トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

バックル・ハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、シートに挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外し、車外に出して安全な場所で適切に保管してください。

疑問点、ご不明な点は、販売店、メーカーに問い合わせください

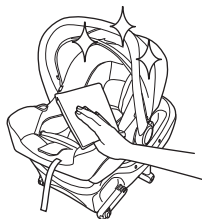
補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

ベビーベッドとして使用しないこと

本製品は、ベビーベッドではありません。赤ちゃんの健康を害するおそれがあります。長時間の睡眠には適しませんので、ベビーベッドの代用としては使用しないでください。

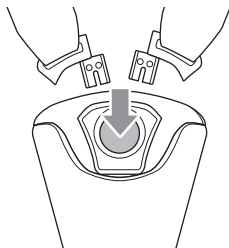
お子さまの手足が挟まれないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付ける際、ISOFIX ベースに取り付ける際、自動車の座席に取り付ける際には、お子さまの手足に注意し、本製品とベビーカーや自動車の座席の間に挟まないようにしてください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

ISOFIX で固定している場合

- 本製品を ISOFIX ベースから取り外す
- ISOFIX ベースごと自動車の座席（ISOFIX 固定バー）から取り外す
- シートベルトカッターでハーネスを切断する

3点式シートベルトで固定している場合

- シートベルトのバックルを外す
- シートベルトカッターで、シートベルトを切断する
- シートベルトカッターで、ハーネスを切断する

飛行機内での使用

本製品は、以下の方法で飛行機の座席に固定することができますが、当社では飛行機の座席への本製品の固定を確認したものであり、飛行機内での使用、事故、衝撃に対する安全性に関しての保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。

本製品の機内への持ち込み、使用の可否等については、航空会社にお問い合わせください。

⚠危険

飛行機に限定した固定方法です

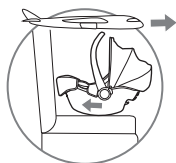
飛行機の座席に使用する場合のみ、2点式ベルト(ラップベルト)で固定します。自動車に取り付けて、チャイルドシートとして使用する場合、絶対に2点式ベルト(ラップベルト)の状態では固定しないでください。

エアバッグの装備された座席では使用できません

エアバッグの展開により影響を受ける座席では使用しないでください。

航行方向に対して前向きの座席に、後ろ向きで固定します

本製品は、飛行機の進行方向に対して前向きの座席に、後ろ向きにして固定して使用します。それ以外の座席や、それ以外の向きでは使用しないでください。



⚠警告

常に固定しておくこと

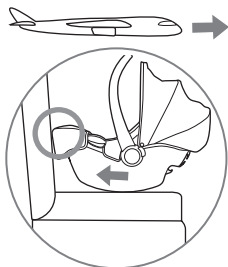
お子さまが乗っていない場合でも、本製品は座席に固定しておいてください。飛行機の動きにより、本製品が移動して思わぬ事故につながるおそれがあります。

飛行機のベルトでの固定のしかた

01 飛行機での使用時

飛行機の進行方向に対して前向きの座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。

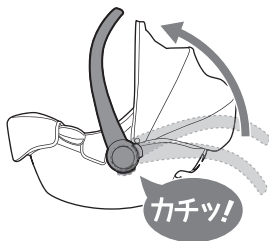
座席の中央、座席の背もたれに本製品の足元があたるようにして置いてください。



02 飛行機での使用時

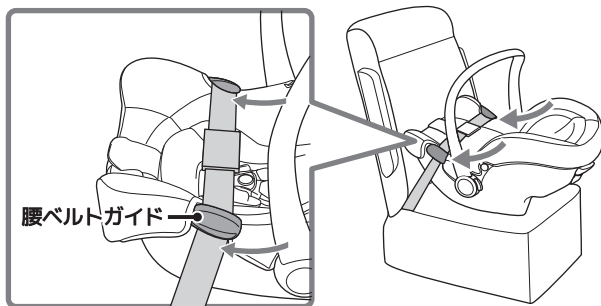
キャリーハンドルがキャリーポジション以外の場合には、キャリーポジションに切り替えて固定します。

参照 P41 ▶キャリーハンドルの使いかた



03 飛行機での使用時

下図を参照して、座席のベルトをねじらないように注意して左右の腰ベルトガイドに通して、バックルを留めます。



04 飛行機での使用時

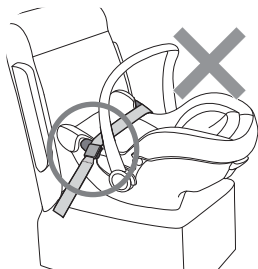
ベルトをきつく締めて、しっかりと固定してください。

ベルトの使い方、バックルの留め方、使い方に関しては、飛行機の座席にある安全のしおり等を参照するか、客室乗務員にご確認ください。

⚠注意

飛行機のベルトを腰ベルトガイドに通すこと、飛行機のベルトのバックルが腰ベルトガイドに干渉しないこと

正しく固定して使用してください。



- ・ベルトが腰ベルトガイドに通っていない
- ・バックルが腰ベルトガイドに干渉している

05 飛行機での使用時

取り外しは、逆の手順で行います。飛行機のベルトの外しかたは、飛行機の座席にある安全のしおり等を参照するか、客室乗務員にご確認ください。

基本的な使用方法

ここでは、本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になる際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

⚠危険

適切に使用すること

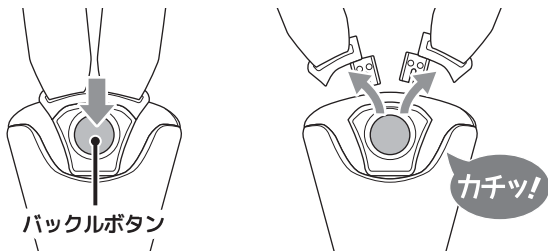
不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。
「カチッ」と音がして、差込みタンクが外れます。



⚠注意

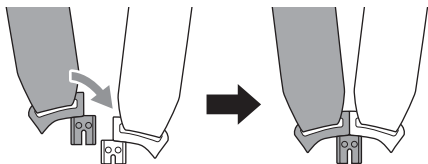
バックルの操作は固めです

バックルは、安全のため操作が固めになっています。お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

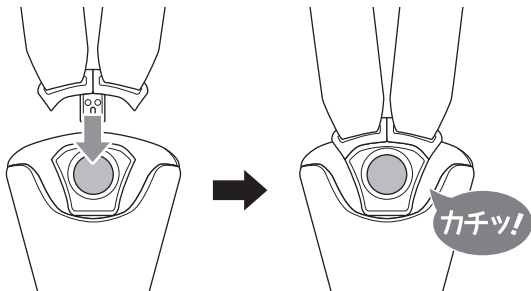
01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



02

そのまま、差込みタングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント!

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

⚠危険

バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるよう、ハーネスの長さを調節します。

⚠危険

ハーネスの長さは適切に調節すること

ハーネスは、必ず適切な長さに調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

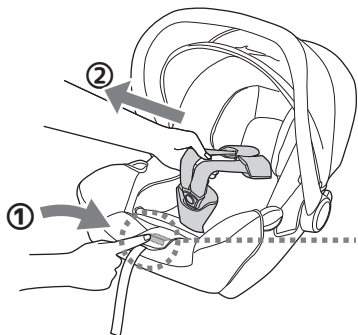
ハーネスは左右同じ長さに調節すること

左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。必ず左右のハーネスを同じ長さに調整してください。

ゆるめかた

01

本製品の前端のアジャスターベルトの上にある①ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは見えません）を押し込みながら、②左右のハーネスを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。

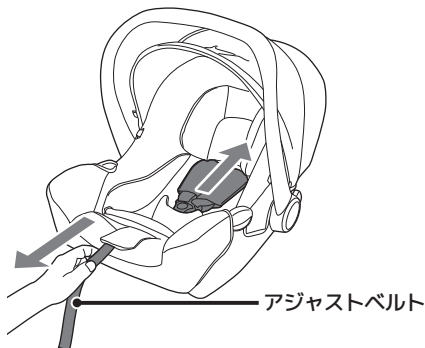


ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

締めかた

01

アジャストベルトを手前に引くと、ハーネスが締まります。ゆっくり引いてください。



⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引くこと

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

ソフトパッドの使いかた

身長が 60cm になる頃までは、ボディサポートを取り付けての使用を推奨します。ご購入時、ソフトパッドは取り付けられています。

⚠危険

ヘッドサポートは取り外しできません

ヘッドサポートは、常に取り付けて使用します。取り外して使用してはいけません。

ボディサポートの取り外し・取り付け

ボディサポートは、お子さまが成長し、お子さま肩の位置を適切することが難しくなった場合に取り外します。

お子さまを乗せたままでは取り付け、取り外しはできません。

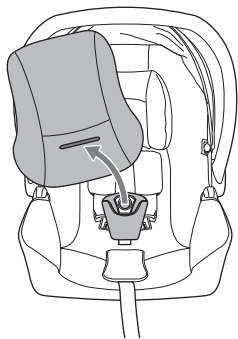
参照 P63 ▶ソフトパッドについて

01

バックルを外しておきます。

02

取り外すには、股ベルトパッド（受けバックル）から、ボディサポートを抜くようにします。操作は固めです。注意して抜き取ってください。



⚠注意

ボディサポートを大切に保管すること

取り外したボディサポートは、お子さまの手の届かない場所で、大切に保管してください。

03

取り付けは、逆の手順で行います。

⚠注意

ボディサポートのクッションを取り付けること

ボディサポートのお手入れ時には、ボディサポートに内蔵されているクッションを取り外します。ボディサポートを本製品に取り付ける際に、クッションが取り付けなおされていることを確認してください。

キャリーハンドルの使いかた

キャリーハンドルは3つのポジションで使うことができます。

①キャリーポジション

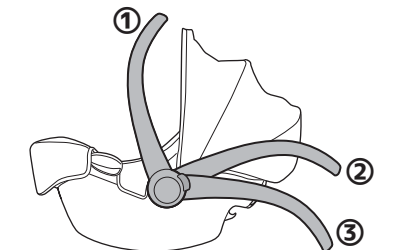
チャイルドシート、ベビーキャリー、ベビーカー用のシートとして使用する場合には、このポジションに設定してください。

②ロッキングポジション

ロッキングチェアのように、前後に揺らすことができます。
お子さまの様子を見て、ご使用ください。

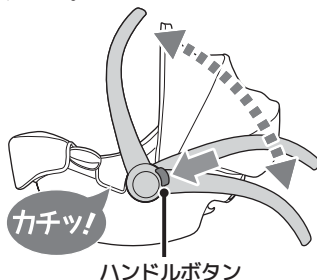
③チェアポジション

底面が安定して、ロッキングしなくなります。



01

キャリアハンドルの左右の根元にある、①ハンドルボタンを両方同時に押しながら、②キャリアハンドルを動かして、任意のポジション（3つのポジションのいずれか）まで動かすと、カチッと音がしてキャリアハンドルが固定されます。目的のポジション以外で固定されてしまった場合、もう一度ハンドルボタンを押して作業をやり直してください。

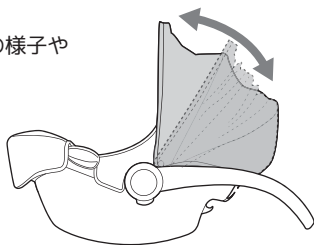


キャンピの使いかた

キャンピーは、お子さまに日差しが直接あたらないようにするために使用します。

01

キャンピーは、前後に動かせます。お子さまの様子や日光の状態に応じて、調整して使用します。



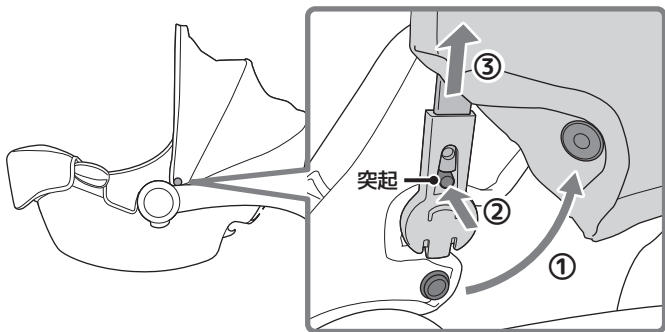
ポイント!

キャンピーは、お子さまが快適に過ごせるよう大きめにつくられています。このため、キャリアハンドルがキャリアポジションに調節されている場合、キャンピーを開閉する際に、キャリアハンドルが干渉することがありますので、ゆっくりと開閉操作をしてください。

02

キャノピーを取り外す場合は、キャリアハンドルの根元部にある①ホックボタンを外してめくり、②キャノピーの根元のブラケットの突起（下図参照）を指で押し込んで、③キャノピーを上を引き抜きます。

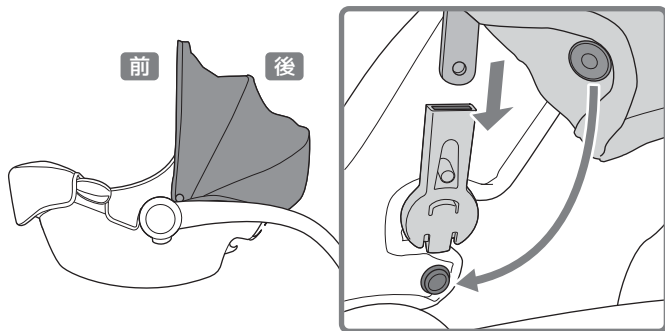
左右とも同じようにしてください。



ホックボタン/ブラケット

03

取り付けは逆の手順で行います。キャノピーの前後を間違わないように注意してください。



ISOFIX ベース（別売）による取り付け

本製品を ISOFIX ベース（別売）で固定して、チャイルドシートとして使用する場合は、先に ISOFIX ベースを座席に固定し、ISOFIX ベースに本製品を取り付け、固定して使用します。

ISOFIX ベース（別売）の取り付け

⚠危険

ISOFIX ベースの取扱説明書をあわせて確認すること

本書とあわせて、ISOFIX ベースの取扱説明書を必ず確認し、その指示に従ってください。

⚠警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

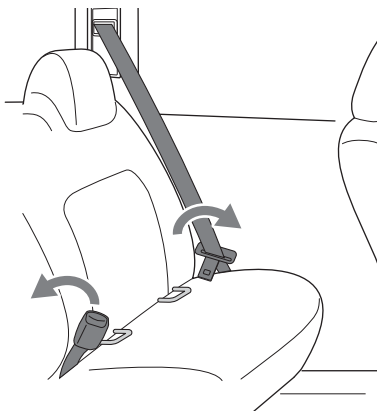
安全のため、ISOFIX ベースの取り付け・取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

👉ポイント！

本書では、ISOFIX ベースは、JOIE I-Base（別売）の場合の使用方法を記載しています。

01

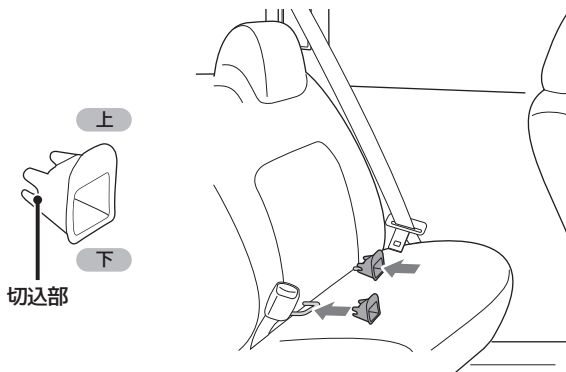
本製品を取り付けるシートのシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。



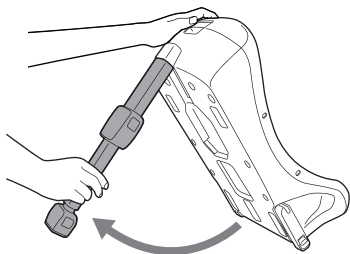
👉ポイント！

車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

ISOFIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、自動車の取扱説明書をご確認ください。

03

ISOFIX ベースのサポートレッグを最後まで開きます。



⚠ 注意

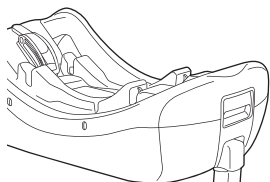
サポートレッグは完全には固定されていません

サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されていません。ISOFIX ベースを持ち上げるとサポートレッグが開き、先端部が下に引き出されることがありますので、ご注意ください。

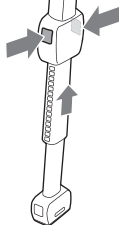
👉 ポイント！

サポートレッグの先端部は、サポートレッグが開くと自動的に引き出されることがあります。

以下の操作時にサポートレッグを一旦短くする場合は、サポートレッグの左右のサポートレッグアジャストボタンを同時につまんでサポートレッグを短くしながら操作してください。

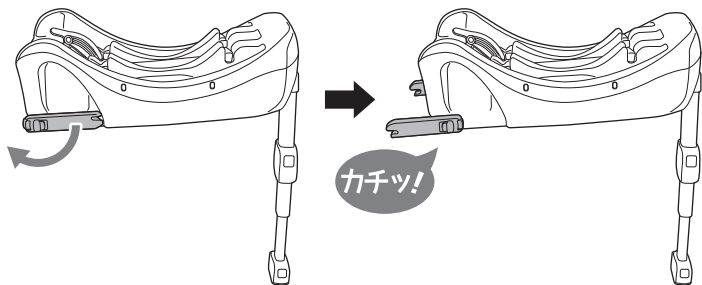


サポートレッグアジャストボタン



04

ISOFIX コネクターを「カチッ」と音がするまで 180°回転させて、ISOFIX 固定バーの方向に向けます。

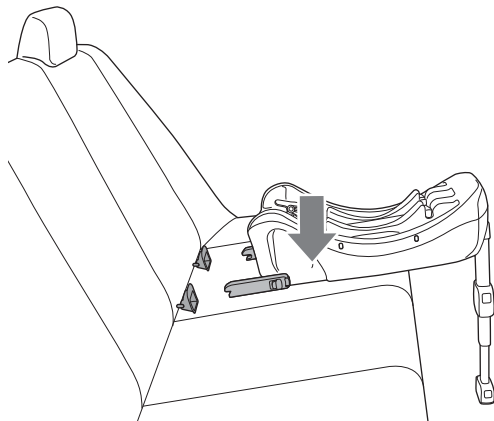


ポイント!

ISOFIX コネクターは、左右連動して動きます。安全のため操作を固くしてありますので、ケガをしないように注意して力を入れて回転させてください。

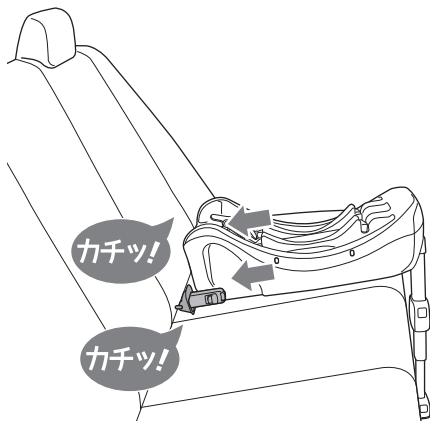
05

ISOFIX ガイドの位置を確認して、ISOFIX コネクターを ISOFIX ガイド側に向けて、ISOFIX ベースをシート座面に置きます。



06

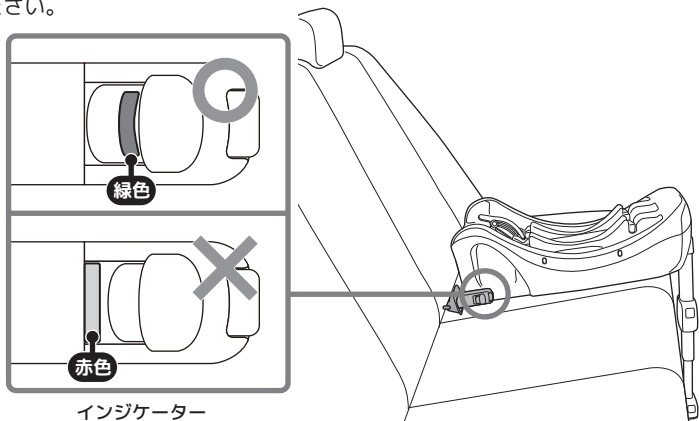
左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。カチッと音がして座席の ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。



07

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。**必ず、左右両方とも確認してください。**

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



ISOFIX コネクターは確実に固定すること

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、チャイルドシートが自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合 ISOFIX ベースは正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

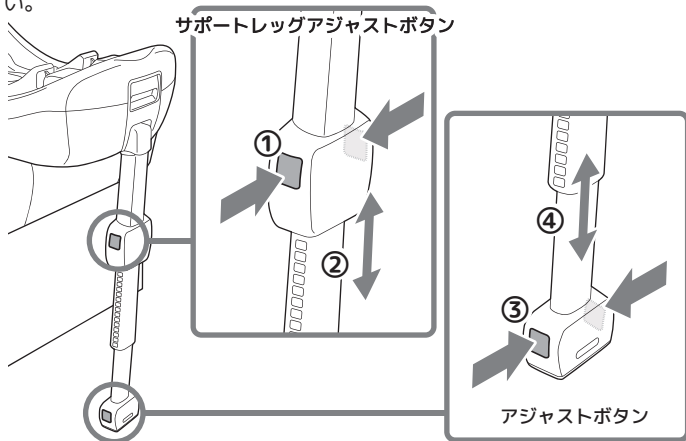
👉ポイント！

ISOFIX コネクターのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

また、ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く ISOFIX ベースを引いて確認するようにしてください。

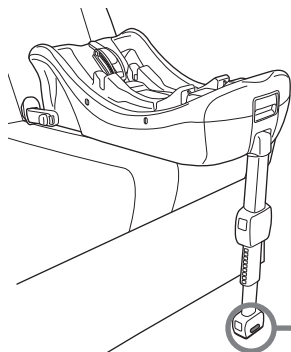
08

①サポートレッグアジャストボタンを左右からつまむようにして握り、②サポートレッグを調整します。サポートレッグを長くしすぎて、ISOFIX ベースの先端(サポートレッグ側)がシート座面から浮き上がらないようにご注意ください。③アジャストボタンを同様に操作して高さを調整します。ISOFIX ベースの底面がシート座面に接した状態で、サポートレッグの先端が床面に接する長さに調整してください。

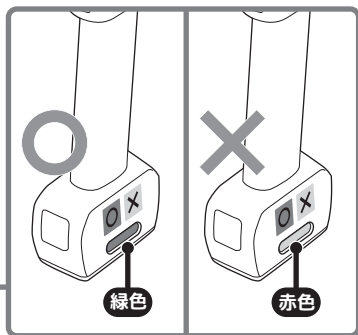


09

サポートレッグ先端のサポートレッグインジケーターが完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合は、サポートレッグインジケーターが緑色になるよう、サポートレッグを調節してください。



サポートレッグインジケーター



⚠危険

サポートレッグインジケーターが緑色になっていることを確認すること
サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

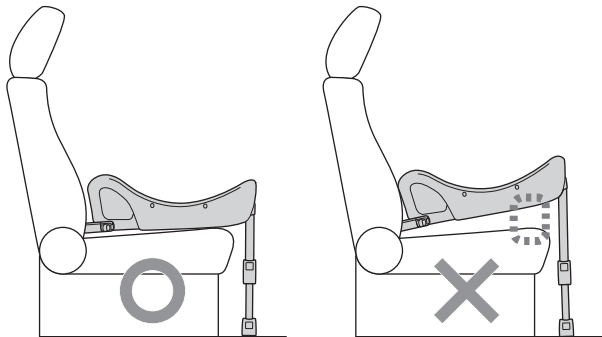
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



ISOFIX ベースをシート座面から浮かせないこと

サポートレッグを調節する際に、ISOFIX ベースの底面が座面から浮かないようにしてください。ISOFIX ベースの底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。

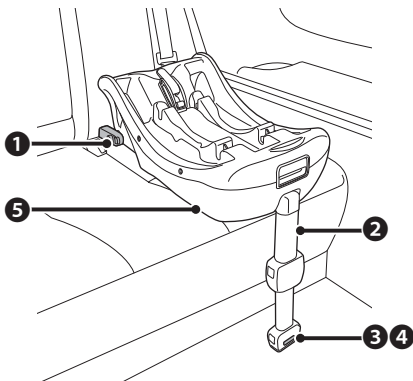


10

念のため、ISOFIX ベースを手前に引いて、ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定バーに固定されていることを確認してください。

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



チェックリスト

- ① 左右のISOFIXコネクタがISOFIX固定バーに固定され、ISOFIXコネクタのインジケータが左右とも緑色になっていること。
- ② サポートレッグが完全に開かれていること。
- ③ サポートレッグインジケータが緑色になっていること。
- ④ サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの下、周辺に物が置かれていないこと。
- ⑤ 本製品の底面がシート座面に接していること。

⚠危険

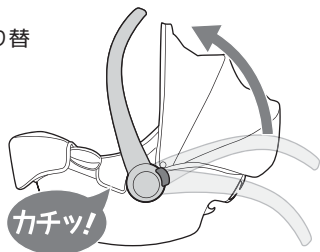
3点式シートベルトによる固定をしないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。ISOFIXによりISOFIXベースを正しく固定した上から、3点式シートベルト等で、さらに固定しようとしてください。ISOFIXベースは、ISOFIXのみで固定します。

本製品の取り付け

01

キャリーハンドルをキャリーポジションに切り替えておきます。



参照 P41 ▶キャリーハンドルの使いかた

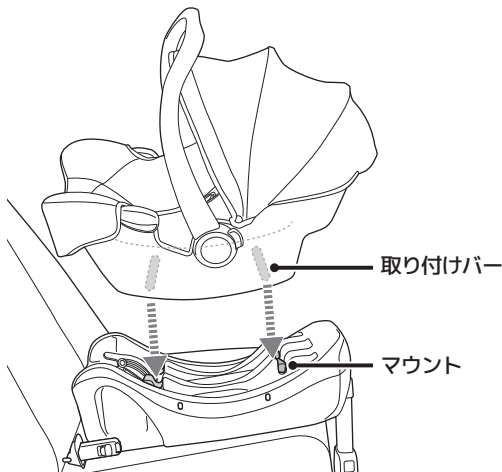
⚠危険

キャリーポジションで使用する

チャイルドシートとして使用する場合は、キャリーハンドルは常にキャリーポジションにしてください。

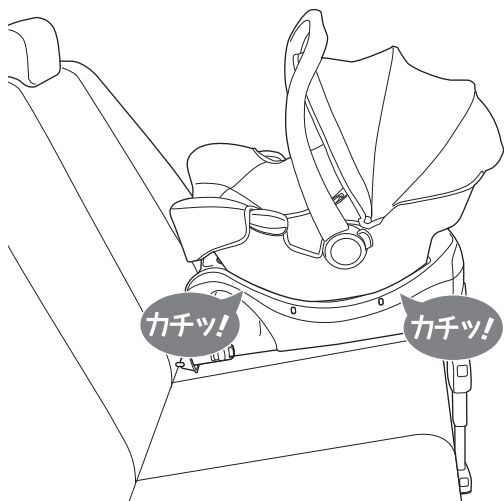
02

本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして、底面の前後にある取り付けバー（金属棒）と、ISOFIX ベースのマウントの位置を合わせて下ろします。



03

そのまま ISOFIX ベースに押し込み、カチッと音がして、本製品が ISOFIX ベースにしっかりと固定されたことを確認します。



⚠ 危険

後ろ向きで使用するこ

本製品は、進行方向に対して後ろ向きでのみ使用できます。

シートベルト等で追加の固定をしないこ

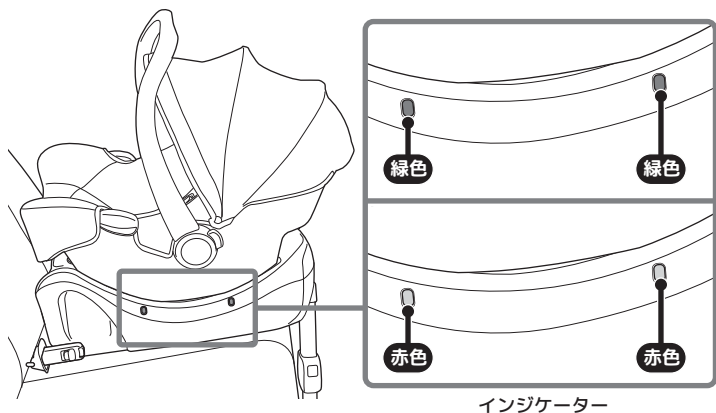
ISOFIX で固定した上から、シートベルトや紐など、その他の方法で、追加して本製品を固定しようとししないでください。これらによって固定が強化されることがないばかりか、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品に対応しない ISOFIX ベース、ベースに取り付け

当社が、取り付けが可能、と明示していない、ISOFIX ベースやその他のベースシートに本製品を取り付けてはいけません。

04

ISOFIX ベースのインジケーターが4カ所すべて緑色になっていることを確認してください。一つでも赤色がある場合は、取り付けなおしてください。



05

念のため、キャリーハンドルを動かして、ISOFIX ベースから本製品が外れないことを確認してください。

⚠ 危険

確実に取り付けること

本製品が ISOFIX ベースに確実に固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が ISOFIX ベースから外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず、ISOFIX ベースの4カ所のインジケーターがすべて緑色になっていることを確認（JOIE I-Base の場合）し、かつ、キャリーハンドルを動かして、ISOFIX ベースから本製品が外れないことを確認してください。

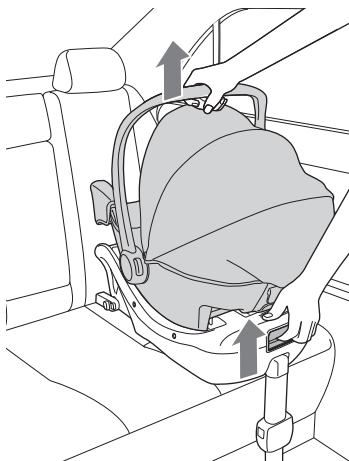
本製品の取り外し

01

ISOFIX ベースの前端にある、リリースレバーを握りながら、本製品をゆっくりと持ち上げて取り外します。

お子さまを乗せた状態で、本製品を取り外す場合は、お子さまの様子を見て、慎重に操作してください。

取り外した本製品を車外に出します。



⚠危険

ISOFIX ベースのマウント部を汚さないこと

本製品を取り外すと、ISOFIX ベースの上部が露出します。ISOFIX ベースのマウント部は、本製品を ISOFIX ベースに固定する重要な部品です。マウントに汚れが付着していると、本製品が正しく固定できなくなるおそれがあります。使用しないときは、ISOFIX ベースにカバーをするなどして、汚れやほこりが付着しないようにしてください。

長期間使用しない場合は、ISOFIX ベースも取り外して車外で保管してください。また、お手入れ、保管の目的でも、絶対に注油しないでください。

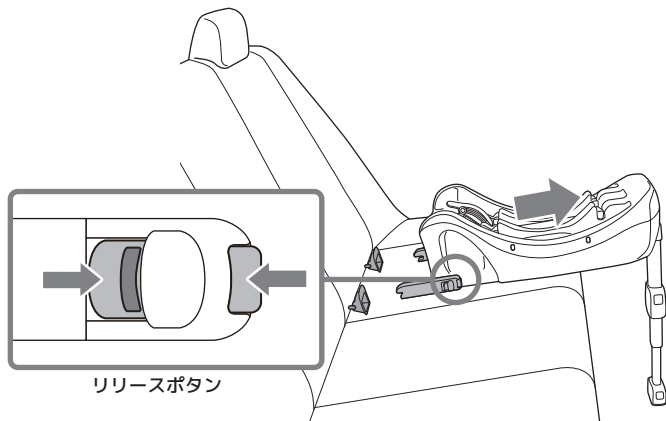
ISOFIX ベース（別売）の取り外し

01

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから取り外します。

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。前後のリリースボタンを同時押しすると ISOFIX コネクターのロックが解除されます。ISOFIX ベースを手前に動かして ISOFIX 固定バーから抜きます。

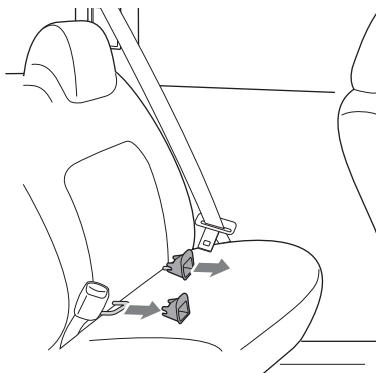


ポイント！

ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

02

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。



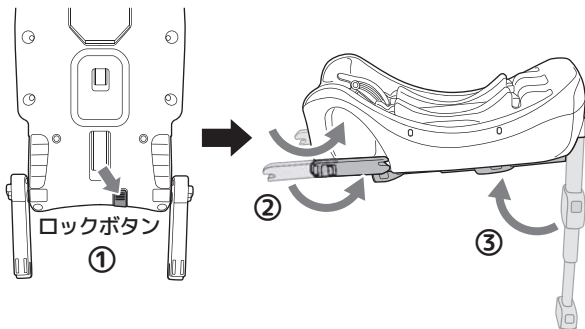
⚠ 注意

ISOFIX ガイドを取り外しておくこと

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

03

ISOFIX ベース底面の ISOFIX コネクター側にある、①ロックボタンを押して、② ISOFIX コネクターを 180°回して本体に収納し、③サポートレッグを折りたたんで閉じます。



警告

ISOFIX ベース、本製品とも、座席から取り外したら必ず車外に出しておくこと

本製品、ISOFIX ベースを座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。これらは正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

ISOFIX ベースのサポートレッグは固定されません

サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。

サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。本製品を持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。

お子さまの乗せかた

01

あらかじめハーネスをゆるめ、バックルを外しておきます。

参照 P39 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

02

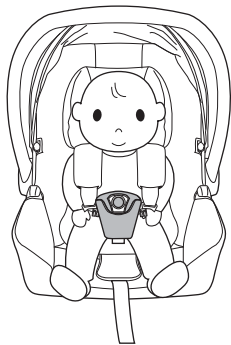
お子さまを楽な姿勢にして本製品に座させます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

ハーネスをお子さまの前側に出しておいてください。

警告

ハーネスパッドは外さないでください

ハーネスパッドを取り外した状態では、絶対に使用しないでください。事故や衝撃を受けた際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。



03

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。ハーネス、股ベルトににねじれがないことを確認して、ハーネス（ハーネスパッド）をお子さまの肩の部分に通し、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。

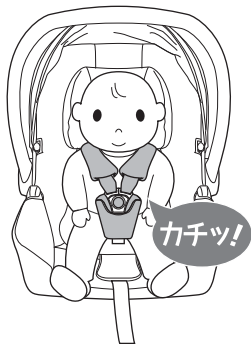
警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

ハーネスはお子さまの肩の部分を通すこと

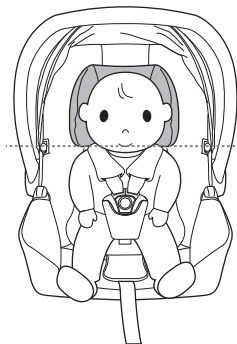
ハーネス（ハーネスパッド）がお子さまの肩の部分を通っていないと、お子さまが落下したり、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが飛び出したりするおそれがあります。



04

ハーネスが適切な高さになっていることを確認します。
ヘッドサポートの底部がお子さまの肩の高さと水平になっている状態が適切な状態です。

お子さまが成長し、ヘッドサポートの底部よりもお子さま肩の位置が高くなってしまった場合には、ボディサポートを取り外してください。



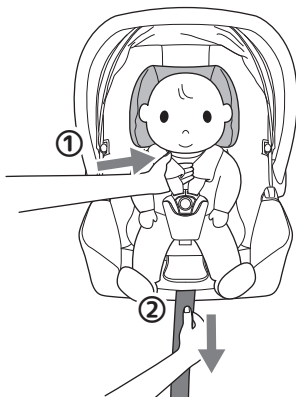
ヘッドレストの底部が
お子さまの肩の高さと
水平になっている

参照 P64 ▶ソフトパッドについて▶ボディサポートの調節

05

ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて、締めつけます。

差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間挟まれるまで締め付けるようにします。





危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強くハーネスが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

ポイント！

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

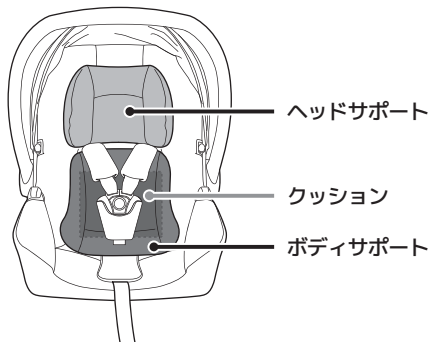
参照 P39 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

06

お子さまを降ろすには、バックルを外し、ゆっくりと降ろしてください。

ソフトパッドについて

ソフトパッドは、お子さまの頭部を保護するヘッドサポートと、身体部を保護するボディサポートで構成されています。



- ① ボディサポートは、身長 60cm 以下のお子さまの使用に適しています。
- ② ボディサポートの中には、クッションが取り付けられています。



ヘッドサポートは、取り外しできません。常に使用します。



ボディサポートは、お子さまが成長し、お子さま肩の位置を適切することが難しくなった場合に調節、または、取り外します。

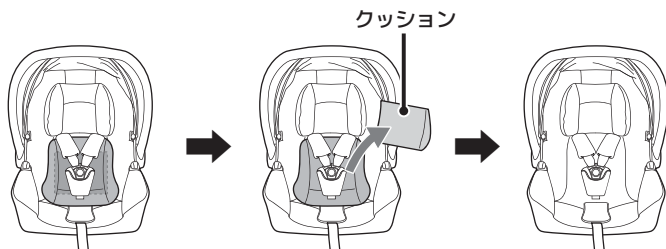
ボディサポートの調節

ご購入時には、月齢の低いお子さまでもご使用いただけるよう、ボディサポートにクッションが取り付けられています。

ポイント！

ボディサポートの取り付け・取り外しは、P40の「ソフトパッドの使いかた」を参照してください。

ボディサポートは、お子さまの成長に合わせて調節できます。



- ヘッドサポート
- ボディサポート
- クッション

身長 60cm 以下のお子さまには、すべてのソフトパッドを取り付けてのご使用を推奨します。

- ヘッドサポート
- ボディサポート

身長 60cm を超え、お子さまの肩の位置が適切な状態にならなくなった場合、また姿勢が窮屈になった場合、クッションを取り外して、ボディサポートのみで使用します。

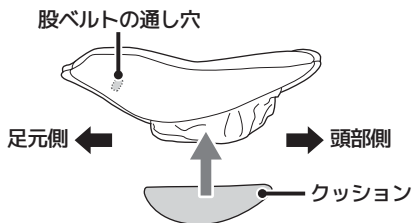
- ヘッドサポート

身長 60cm を超え、ボディサポートのみでも肩の位置が適切な状態にならなくなった場合、また姿勢が窮屈になった場合、ボディサポートも取り外して使用します。

クッションの取り付け

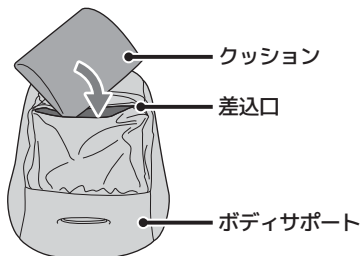
01

クッションには前後があります。下図を参照して正しい向きで取り付けます。



02

ボディサポート背面の袋状部分の差入口からクッションを入れます。



03

クッションの取り外しは逆の手順で行います。

3点式シートベルトによる取り付け

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルト（3点式リトラクターシートベルト）で取り付けることができます。

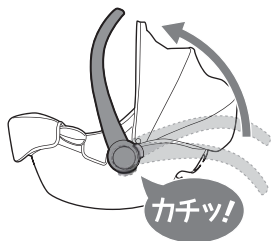
この場合 ISOFIX ベースは使用しません。

3点式シートベルトを装備したすべての座席に取り付けできるとは限りません。
あらかじめ、P 5「はじめにお読みください」、P 13「自動車の座席への取り付けに関して」をお読みいただき、使用可能な条件等についてご確認ください。

01

キャリーハンドルがキャリーポジション以外の場合には、キャリーポジションに切り替えて固定します。

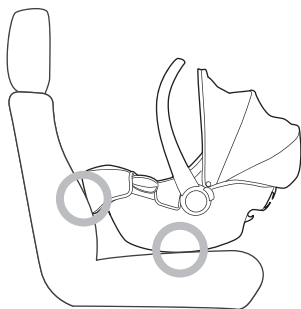
参照 P41 ▶キャリーハンドルの使いかた



02

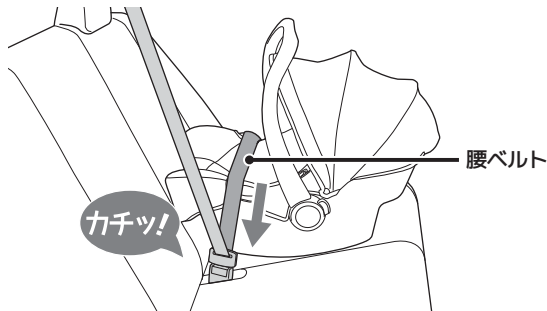
取り付けたい自動車の座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。

本製品の、底面が座席の座面に、前端が背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



03

シートベルトにねじれがないことを確認して、バックルを留めます。腰ベルトが本製品の上を通るようにしています。カチッと音がして、しっかりと留まっていることを確認してください。

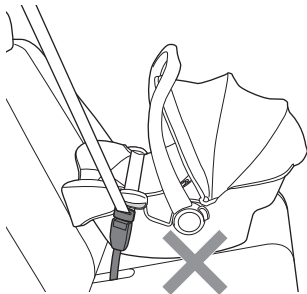
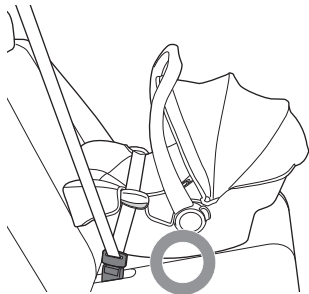


⚠危険

シートベルトにねじれがないようにすること

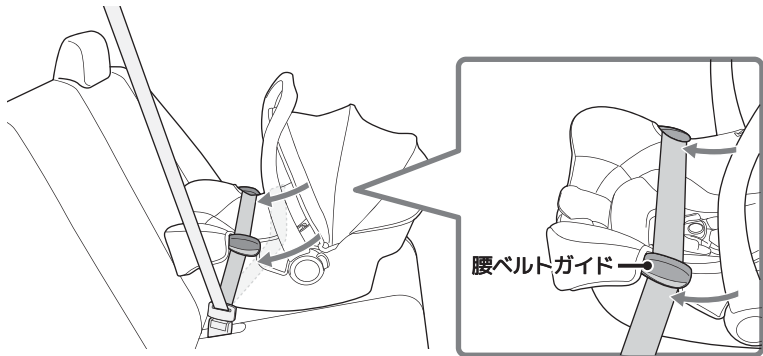
シートベルトがねじれていると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。

バックルが長すぎる（バックルのベルト）座席には取り付けないこと
バックルのベルトが長すぎたり、バックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉して、しっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。



04

腰ベルトをねじらないように注意しながら、左右の腰ベルトガイド（青色）の左側に通します。キャリアハンドル側から滑り込ませるようにして、通してください。



⚠危険

腰ベルトは確実に左右の腰ベルトガイドを通すこと

腰ベルトは、必ず左右の腰ベルトガイドを通るようにしてください。腰ベルトが正しく腰ベルトガイドに通っていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。

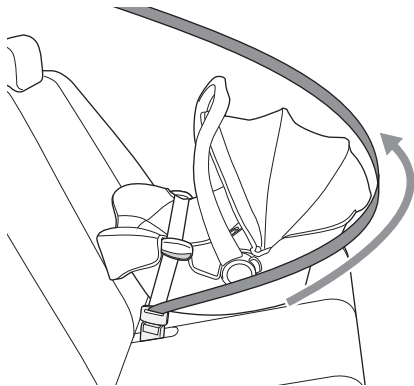
05

肩ベルトを引き出して、ねじらないように注意しながら、本製品の後ろ側に回します。

👉ポイント！

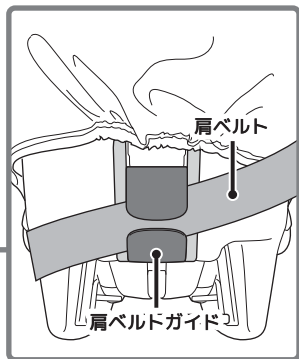
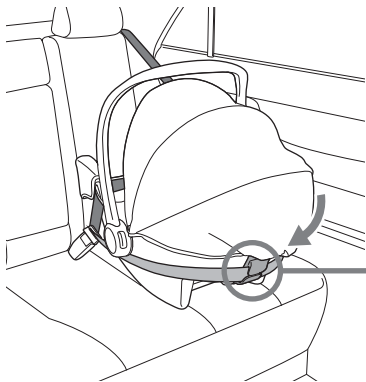
作業中、シートベルトの固定機能が働いてしまうと、シートベルトを引き出すことができず、それ以上作業ができなくなります。

P18「3点式シートベルトで固定する場合」でシートベルトの種類を確認し、自動車の取扱説明書のシートベルトの使い方の説明を確認して、シートベルトの固定機能を解除してください。



06

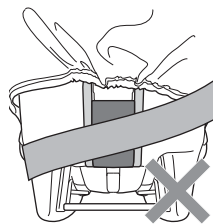
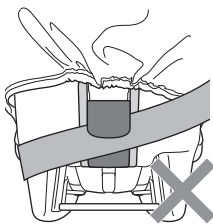
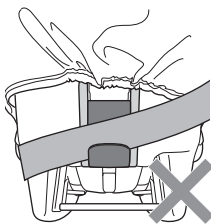
そのまま、下図を参照して、肩ベルトを後部の肩ベルトガイド（青色）に差し入れます。



⚠危険

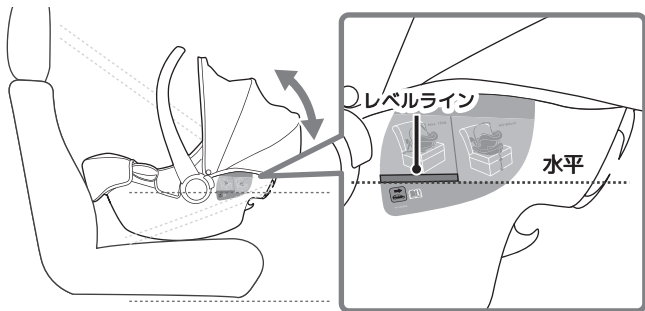
肩ベルトは正しく肩ベルトガイドを通すこと

肩ベルトは、必ず正しく肩ベルトガイドを通るようにしてください。肩ベルトが正しく肩ベルトガイドに通っていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。



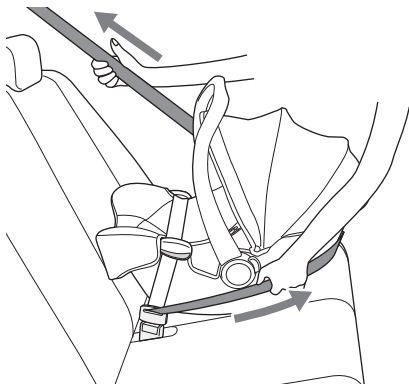
07

本製品の側面に貼られているレベルラインが、地面に対して水平になるように本製品の角度を調節してください。



08

肩ベルトを、締め付ける方向に強く引いて、本製品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほど、本製品はより強く固定されます。



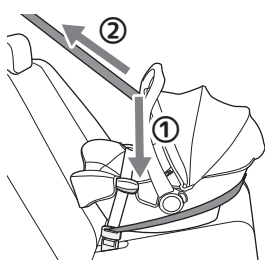
⚠ 注意

お子さまの様子に注意すること

お子さまを乗せたまま、取り付け作業を行う場合は、お子さまの安全を確認しながら、作業してください。

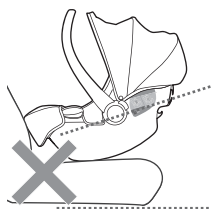
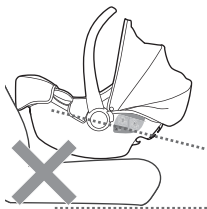
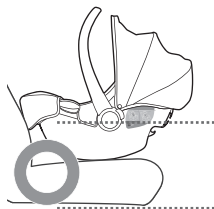
 **ポイント!**

お子さまが乗っていない場合、本製品の①座面部分を強く押し付けながら（シートベルトの腰ベルトは押さないでください）、②肩ベルトを強く引くと、より強く固定することができます。



09

もう一度、レベルラインが地面に対して水平になっていることを確認します。角度がつきすぎている場合には、もう一度取り付けなおしてください。

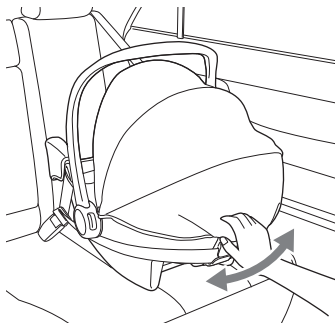


警告

レベルラインが地面に対して水平になるように固定すること
角度がつきすぎていると、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出すおそれがあります。また、通常使用時においても、特に月齢の低いお子さまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。

10

本製品を、前後左右に軽く動かしてみます。グラグラした感じがして、本製品が3cm以上動く場合、取り付けがゆるい状態ですので、シートベルトの肩ベルトをさらに締め付けてください。



ポイント！

シートベルトを、きつく締め付けるほど、本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して、可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

また、使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

警告

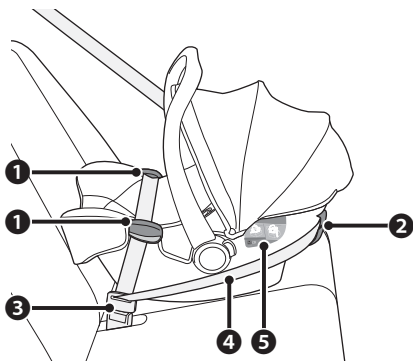
座席のリクライニング、前後調節にご注意ください

本製品を取り付けた後で、座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かすと、取り付けがゆるむことがありますので、注意して操作してください。

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

また点式シートベルトでの使用中には、適宜、正しい状態が維持されていることを確認してください。



チェックリスト

- ① シートベルトの腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ② シートベルトの肩ベルトが、肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ③ シートベルトのバックルが正しく、しっかりと留まっていること。
- ④ シートベルトにねじれがなく、ゆるんでいないこと。
- ⑤ レベルラインが、地面に対して水平になっていること。

12

取り外しは、逆の手順で行います。取り外した本製品は、お子さまが乗っていない場合でも、そのままにせず、車外に出すようにしてください。

その他の使いかた

本製品は、チャイルドシートとして使用する他、以下の用途で使用することができます。

いずれの使用方法でも、お子さまの乗せかたや、ご使用にあたっての注意事項はチャイルドシートとして使用する場合と同様です。お子さまは正しく調節されたハーネスでしっかりと固定してください。

ベビーキャリー

キャリーハンドルを、キャリーポジションにして使用します。

ロッキングチェア

キャリーハンドルを、ロッキングポジションにして使用します。
本製品の底面が固定されず、前後に揺らすことができます。

インファントチェア

キャリーハンドルを、チェアポジションにして使用します。
本製品の底面が固定されるので、お子さまを座らせる簡易的な椅子として使用できます。

ベビーカー用のシート

キャリーハンドルを、キャリーポジションにして使用します。
当社が指定する、JOIE ベビーカーのシートとして使用することができます。

参照 P41 ▶キャリーハンドルの使いかた

警告

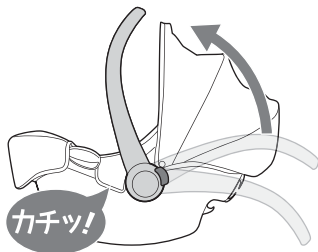
キャリーハンドルは確実に固定すること

どの用途で使用する場合でも、キャリーハンドルは確実に固定してください。キャリーハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子さまに強い負担が掛かるばかりでなく、お子さまが本製品から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

ベビーキャリアとして使用する

01

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えます。



参照 P41 ▶キャリアハンドルの使いかた

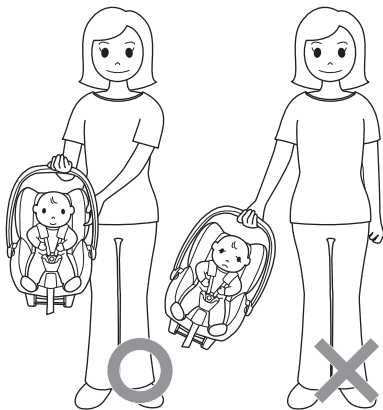
02

地面に水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握るか、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持ちます。

ゆっくりと持ち上げるようにしてください。

使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平を保つのが難しくなりますので、より注意するようにしてください。



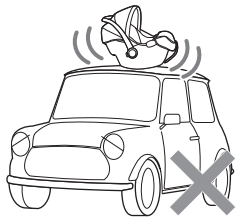
⚠警告

注意して使用すること

お子さまが落下したり、ケガをするおそれがありますので、大きく振ったり、揺すったりしないでください。

高所、不安定な場所、危険のある場所に置かないこと

落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。車の屋根の上に置く、ショッピングカートに乗せる、テーブルや椅子の上に置く、などしてはいけません。



⚠注意

水平を保つように使用してください。

使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

周囲に注意を払って使用してください。

狭い通路や、急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。

走らないでください。

過剰な振動が加わると、最悪の場合にはお子さまが落下するおそれがありますので、本製品を持って走らないでください。

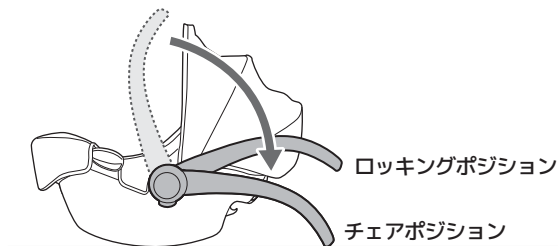
03

地面に置くときは、平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。

ロッキング・インファントチェアとして使用する

01

キャリーハンドルを、ロッキングチェアとして使用する場合はロッキングポジションに、インファントチェアとして使用する場合にはチェアポジションに設定します。



参照 P41 ▶キャリーハンドルの使いかた

ポイント！

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことができます。
チェアポジションでは、キャリーハンドルが前後の揺れを止め、安定しますのでインファントチェアとして使用することができます。

02

ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺らしてください。



警告

大人の方の監視の元で使用すること

使用中は、お子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

ベッドとして使用しないこと

本製品は、就寝用のベッドとしての使用には適しません。お子さまの健康に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

強く揺らさないこと

ロッキングチェアとして使用する場合、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合、強く揺らしても効果が全くないばかりか、お子さまにとって過度の負担となるおそれがあります。

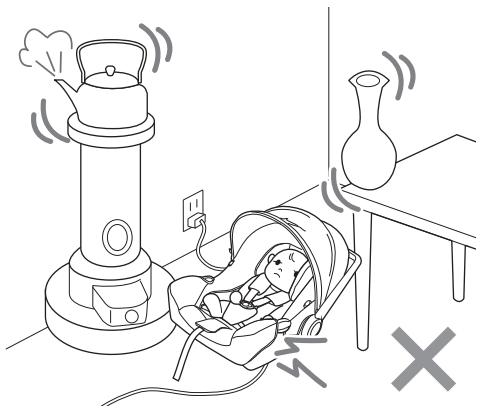
不安定な場所、高所では使用しないこと

本製品が落下したり、挟まったりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。

危険のある場所では使用しないこと

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具、コンセント、ドア、窓、階段の近く、落下すると危険な物の近くに本製品を置いて使用しないでください。

また、お子さまに、暖房、冷房、扇風機などの風が直接あたる場所でも使用しないでください。



⚠注意

連続して長時間使用しないこと

お子さまの健康のため、長時間にわたる連続使用は避けてください。特に、ロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同様、お子さまの気分が悪くなるおそれがあります。

また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。

使用中は、常に大人の方が付き添い、お子さまの様子を確認するようにしてください。

ベビーカー用のシートとして使用する

本製品は、当社が指定するベビーカーに取り付けて、ベビーカー用のシートとして使用することができます。

⚠警告

当社が指定するベビーカー以外に取り付けて使用してはいけません

本製品対応外のベビーカーに取り付けると本製品が落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

JOIE 製品でもすべて対応するとは限りませんので、あらかじめご確認ください。

ベビーカーに二人以上のお子さまを乗せないこと

ベビーカーに本製品を取り付けても、ベビーカーの乗員数は変わりません。

ベビーカーを正しく使用すること。

本書と併せて、必ず、ベビーカーの取扱説明書をご確認ください。

確認・準備

01

お使いのベビーカーが、本製品に対応していることを確認します。

02

ベビーカーの取扱説明書を確認して、ベビーカーが動かないようにブレーキをかけます。

03

ベビーカーの背もたれがリクライニング可能な場合は、リクライニングを最も倒した状態にしておいてください。リクライニングが立った状態では本製品は取り付けできません。

ポイント！

ソフトパッドが装備されているベビーカーの場合、ソフトパッドをあらかじめ取り外しておいた方が、取り付け操作がしやすくなります。

JOIE ベビーカーへの取り付けかた

本製品は、トラベルシステムに対応した次の3種のタイプのベビーカーに取り付けることができます。ご使用のベビーカーのタイプをご確認の上、適応する取り付け方法をご参照ください。

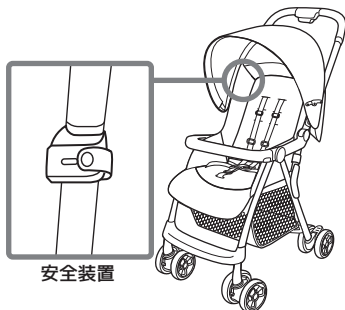
【A】トラベルシステム対応安全装置タイプ

【B】トラベルシステム対応トレイタイプ

【C】トラベルシステム対応セイフティガードタイプ

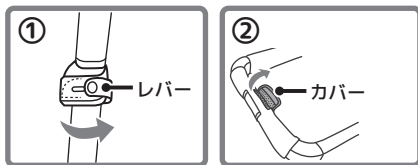
【A】トラベルシステム対応安全装置タイプ

ベビーカーのハンドルパイプに「安全装置」が装備されているタイプ。



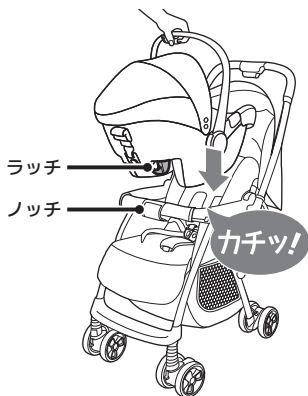
01

- ①ベビーカーの安全装置のレバーを回してツメを収納してください。
- ②ベビーカーのガードの面ファスナーを開けます。



02

本製品の背面のラッチと、トラベルシステム対応セイフティガードの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがセイフティガードのノッチに噛みこんでいるか確認します。

この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだ完全には固定されていません。軽く動かすだけにしてください。

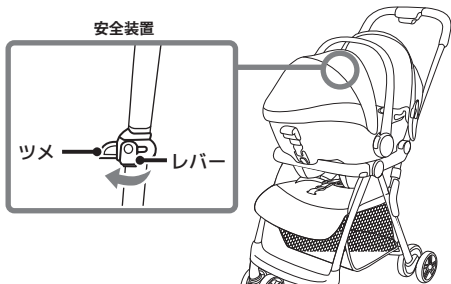
⚠注意

強く動かさないこと

まだ完全には固定されていないので、強く動かさないでください。ベビーカーのセイフティガードが破損するおそれがあります。

03

安全装置のレバーを回してツメを出してください。



04

本製品を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認します。

【B】トラベルシステム対応トレイタイプ

トラベルシステムに対応しているトレイを装備し、かつ、トラベルシステム対応のストラップタイプ。

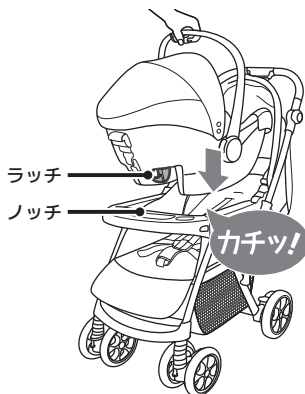


01

本製品をベビーカーの進行方向に対して後ろ向きにして、ベビーカーの上に持っていきます。

02

本製品の背面のラッチと、トラベルシステム対応トレイの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがトレイのノッチに噛みこんでいるか確認します。この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだ完全には固定されていません。軽く動かすだけにしてください。

⚠注意

強く動かさないこと

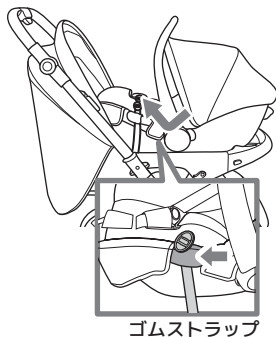
まだ完全には固定されていないので、強く動かさないでください。ベビーカーのトレイが破損するおそれがあります。

03

ベビーカーのフレーム左右にある、ゴムストラップを、それぞれ本製品の腰ベルトガイドに通して、本製品を固定します。

04

本製品を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認します。



【C】トラベルシステム対応セーフティガードタイプ

トラベルシステムに対応しているセーフティガードを装備し、かつ、トラベルシステム対応のストラップタイプで、セーフティガードにカバーのないタイプと、カバーの付いたタイプがあります。



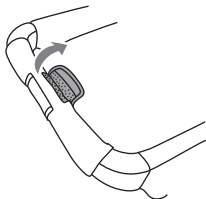
カバー無しタイプ



カバー付きタイプ

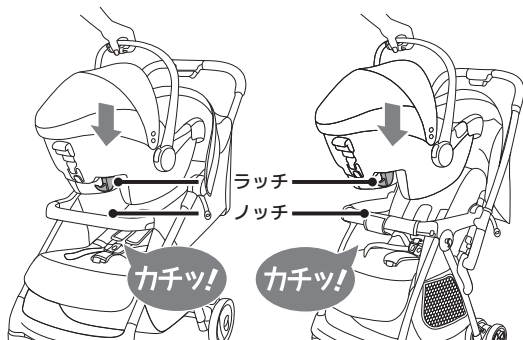
01 (カバー付きタイプのみ)

カバー付きタイプの場合、セーフティガードのカバーの面ファスナーを開けておきます。



02

本製品の背面のラッチと、トラベルシステム対応セーフティガードの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがセイフティガードのノッチに噛みこんでいるか確認します。

この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだ完全には固定されていません。軽く動かすだけにしてください。

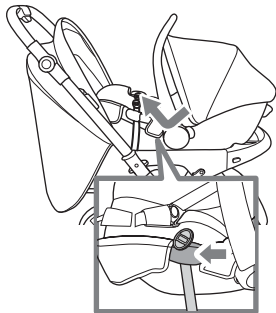
⚠注意

強く動かさないこと

まだ完全には固定されていないので、強く動かさないでください。ベビーカーのセイフティガードが破損するおそれがあります。

03

ベビーカーのフレーム左右にある、ゴムストラップを、それぞれ本製品の腰ベルトガイドに通して、本製品を固定します。



ゴムストラップ

04

本製品を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認します。

JOIE ベビーカーからの取り外しかた

ベビーカーの取扱説明書を参照して、ベビーカーのブレーキを掛けておきます。

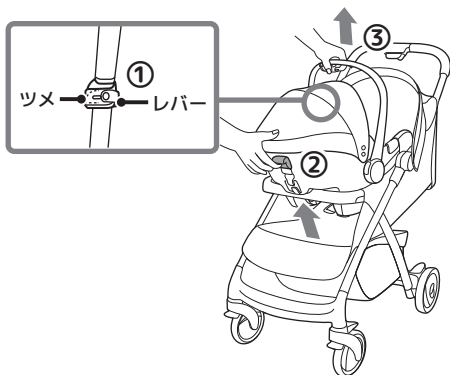
⚠注意

ブレーキを掛けること

取り付け時と同様に、作業中にベビーカーが突然動かないよう、必ずブレーキを掛けてください。

【A】トラベルシステム対応安全装置タイプ

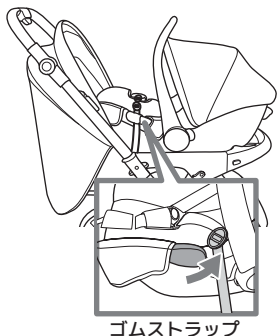
①安全装置のレバーを回し、②ベビーカーリリースレバーを引き上げて、ラッチを外して、③本製品を垂直に持ち上げてベビーカーから取り外します。



【B】トラベルシステム対応トレイタイプ

【C】トラベルシステム対応セイフティガードタイプ

01
左右の腰ベルトガイドから、ベビーカーのゴムストラップを取り外します。



02

①左右のゴムストラップが外れている事を確認します。②ベビーカーリリースレバーを握り、ラッチを外して、③本製品を垂直に持ち上げてベビーカーから取り外します。



ポイント!

イラストは、トラベルシステム対応セイフティガードタイプですが、トレイタイプでも操作内容は同様です。

お手入れのしかた

本製品のお手入れ

本製品は、お手入れのため、キャノピー・シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポート・ボディサポートを取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したシートカバー・ハーネスパッド・ヘッドパッド、を必ず（必要に応じてボディサポートも）取り付けなおしてください。

※キャノピーは、取り外した状態でも使用することができます。



警告

シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポートを外して使用しないこと

チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポート・ウレタン・衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

ボディサポートは、本書の指示に従い、お子さまの成長、体格に応じて、調節、取り付け、取り外ししてください。

シートカバーなどを外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポート・ボディサポートを取り外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

内部機構に手を加えないこと

シートカバーを取り外すと、内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構や、その他の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

キャノピーの取り外し

「キャノピーの使いかた」を参照してキャノピーを取り外します。
キャノピーを取り外さないと、シートカバーの取り外しはできません。

参照 P42 ▶キャノピーの使いかた

ボディサポート（クッション）の取り外し

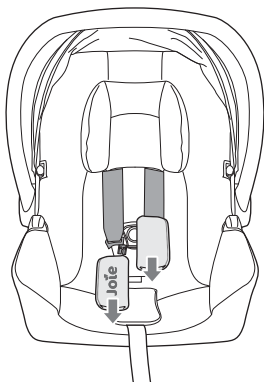
「ソフトパッドの使い方」を参照してボディサポートを取り外します。
ボディサポートに取り付けられているクッションはお手入れできませんので、お手入れの際には取り外してください。

参照 P40 ▶ソフトパッドの使いかた

ハーネスパッドの取り外し

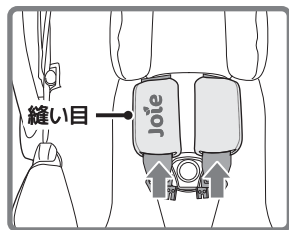
01

バックルを外し、ハーネスからハーネスパッドを抜きます。



02

取り付ける場合は、逆の手順で行います。
ハーネスパッドには向きがあります。
縫い目のない方を、お子さまの首側にします。
右図を参照して正しく取り付けてください。



⚠危険

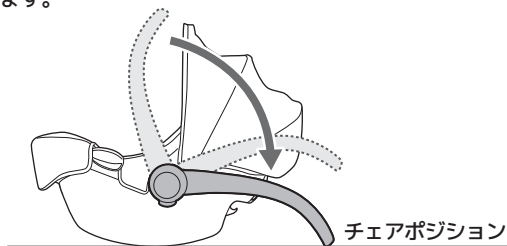
ハーネスパッドを取り付けないこと
ハーネスパッドを外した状態では使用できません。

シートカバーの取り外し

あらかじめキャノピー・ボディサポート・ハーネスパッドを取り外します。

 **ポイント!**

キャリアハンドルを、チェアポジションに設定しておくことで以降の作業が行いやすくなります。

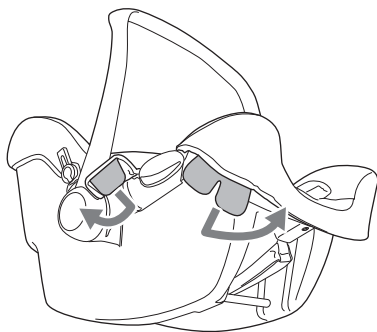


参照 P41 ▶ キャリアハンドルの使いかた

01

足元側の左右と、キャリアハンドルの根元あたりで、シートカバーを留めているプラスチックのプレートを外します。

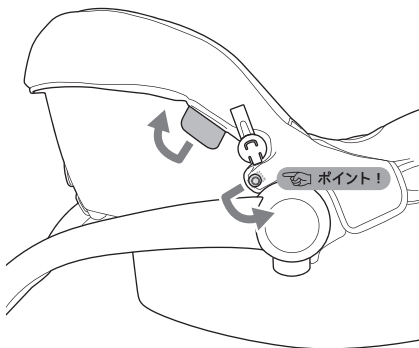
左右とも同じようにしてください。



02

側面の上部でシートカバーを留めているプラスチックのプレートを外し、キャンピーのホックボタン部でシートカバーを留めている金属のフックプレートを外します。

左右とも同じようにしてください。

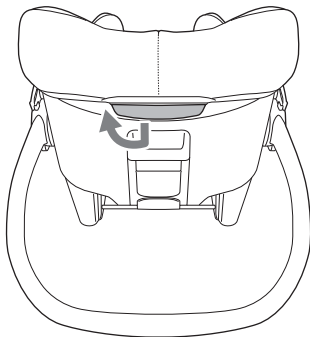


ポイント！

ホックボタン部の金属フックも、他のプラスチックプレートと同様に、本体に掛けられています。取り外しの操作は、プラスチックプレートと同じです。

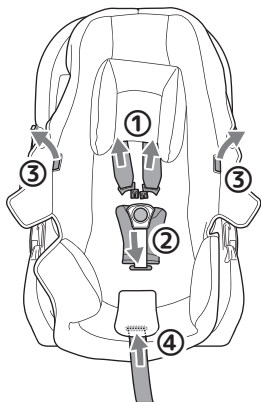
03

後部（頭部）のプラスチックのプレートを同様にして外します。



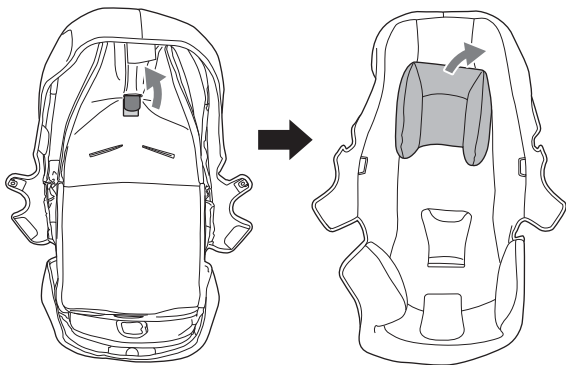
04

①ハーネスを通し穴から抜き、②股ベルト（受けバックル）を、股ベルトパッドと、シートカバーの通し穴から抜き、③ベビーカーリリースボタン、④アジャストベルトをそれぞれ通し穴から抜き、シートカバーを取り外します。



05

シートカバー背面の面ファスナーを外して、ヘッドサポートを取外します。



ヘッドサポート、シートカバーの取り付けは逆の手順で行います。

 **危険**

ハーネスパッド・ヘッドサポート・シートカバーを必ず取り付けなおすこと

ハーネスパッド・ヘッドサポート・シートカバーは、本製品を使用する際には常に必要な部品です。お手入れ後は、必ず取り付けてください。

ボディサポートは、お子様の成長、体格に合わせて正しく調節し、取り付けてお使いください。

 **注意**

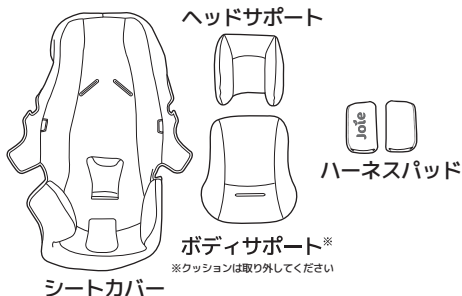
取り外した部品は、お子さまの手の届かない場所に保管すること

取り外したパッド類やクッションなどは、お手入れが終わり、元に戻すまでの間、お子さまの手の届かない場所で保管してください。

汚れの落とししかた

01 ▶シートカバー・ソフトパッド・ハーネスパッド

取り外したシートカバー・ソフトパッド（ヘッドサポート・ボディサポート）・ハーネスパッドは、以下の方法で汚れを落としてください。



⚠注意

ボディサポートのクッションは洗濯できません

以下の方法で洗濯する場合、ボディサポートからクッションを取り外してください。

- 30℃以下の水で手洗いしてください。
- 軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- よく乾かしてから取り付けしてください。

👉ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。



注意

洗濯機は使用しないでください

破損、変形の原因となります。

重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。

アイロンは使用しないでください

破損、縮みの原因となります。

タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。

乾燥機は使用しないでください。

有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

漂白剤は使用できません

劣化を早め、変退色の原因となります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形、しわの原因となります。

02 ▶クッション・キャノピー

ボディサポートから取り外したクッション、キャノピーは洗濯することができません。変形、変質するおそれがありますので、水に浸さず、ブラシで汚れを落とすか、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

03 ▶樹脂部分

樹脂部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠注意

ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないでください

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

04 ▶金属部分

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合（バックルは除きます）には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

05 ▶ハーネス（ベルト類）

ハーネス、アジャスターベルト、股ベルトは取り外しできません。

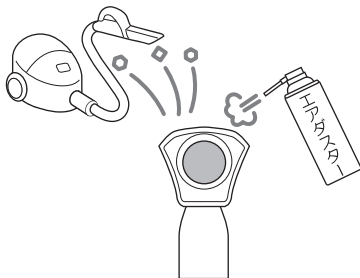
お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

06 ▶ バックル

バックルは、取り外しできません。

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



ISOFIX ベース（別売）のお手入れ

必ず ISOFIX ベースの取扱説明書をあわせて確認し、正しくお手入れしてください。

⚠ 危険

潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。これらが付着すると、変質、破損して、安全に機能しなくなるおそれがあります。

01 ▶ ISOFIX コネクター・サポートレッグ・チャイルドシートマウント

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか、掃除機を使用して吸い取るようにしてください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

他の部位のお手入れにおいても油類等の潤滑剤は使用できませんが、特に、ISOFIX コネクター、サポートレグ、チャイルドシートマウントに潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。



ポイント！

ISOFIX コネクターおよび、自動車の ISOFIX 固定バーは常に清潔を保つようにしてください。

02 ▶樹脂部分

樹脂部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠注意

ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないでください

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

03 ▶ 金属部分

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合（バックルは除きます）には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合、ISOFIX ベースを自動車から取り外しておいてください。

ISOFIX ベース上面のチャイルドシート用のマウントにほこりが付着したり、汚したりしないように、長期間ご使用にならない場合には、ISOFIX ベースの上にカバーなどを被せておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時も本製品のバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com